



平成31年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年4月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 不二越

コード番号 6474 URL <http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 坂本 淳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 古澤 哲 (TEL) 03-5568-5210

四半期報告書提出予定日 平成31年4月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年11月期第1四半期の連結業績（平成30年12月1日～平成31年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年11月期第1四半期	61,046	1.1	3,426	△11.9	3,066	△6.7	2,253	9.0
30年11月期第1四半期	60,367	10.4	3,889	4.1	3,286	0.4	2,067	△22.5

(注) 包括利益 31年11月期第1四半期 1,577百万円 (△12.0%) 30年11月期第1四半期 1,792百万円 (△56.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年11月期第1四半期	90.67	—
30年11月期第1四半期	83.18	—

(注) 平成30年6月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年11月期第1四半期	296,952	120,158	38.3	4,572.74
30年11月期	295,550	121,076	38.8	4,609.38

(参考) 自己資本 31年11月期第1四半期 113,627百万円 30年11月期 114,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年11月期	—	0.00	—	100.00	100.00
31年11月期	—	—	—	—	—
31年11月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年11月期の連結業績予想（平成30年12月1日～平成31年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	128,000	2.7	8,000	△1.4	7,300	3.2	5,000	11.2	201.21
通期	260,000	3.1	17,000	11.1	15,500	11.5	10,500	17.4	422.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年11月期1Q	24,919,343株	30年11月期	24,919,343株
② 期末自己株式数	31年11月期1Q	70,375株	30年11月期	70,026株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年11月期1Q	24,849,125株	30年11月期1Q	24,851,019株

(注) 前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、（添付資料）2ページ「(3) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 今後の見通し	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループをとり巻く環境は、米中通商問題などの影響により、中国を中心に世界経済の減速感が高まり、その影響を受けて、国内経済も不透明な状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは、ロボット事業を核に、工具、工作機械、ベアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての特長を活かし、海外の現地ユーザーを中心とした新規開拓や、新商品の市場投入などによる受注・売上拡大にとり組んでまいりました。また、中長期的な業容の拡大と、足下の収益構造の改善に向けて、開発・営業・生産体制の強化・拡充を進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、610億46百万円(前年同期比1.1%増)、このうち、国内売上高は327億66百万円(同6.1%増)、海外売上高は282億80百万円(同4.1%減)となりました。利益面につきましては、原材料価格やエネルギーコストの上昇に加え、人件費等が収益を圧迫し、営業利益は34億26百万円(同11.9%減)、経常利益は30億66百万円(同6.7%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億53百万円(同9.0%増)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

機械工具事業につきましては、中国市場で減速の動きがあったものの、国内市場の堅調な推移と、工具・ロボットを中心とした新商品投入効果で、売上高は207億75百万円(前年同期比0.3%増)となり、営業利益は14億34百万円(同6.6%増)となりました。

部品事業につきましては、自動車分野において一部減産の影響があったものの、建設機械・産業機械分野の需要が底堅く推移し、売上高は356億20百万円(前年同期比0.2%増)となりましたが、原材料価格の高騰などの影響を受けて、営業利益は14億94百万円(同28.5%減)となりました。

その他の事業につきましては、特殊鋼の需要持ち直しと販売価格の引き上げ等により、売上高は46億50百万円(前年同期比13.7%増)、営業利益は4億93百万円(同13.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、2,969億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億2百万円増加しました。主として、現金及び預金が1億85百万円、たな卸資産が23億27百万円、有形固定資産が6億84百万円増加し、受取手形及び売掛金が7億87百万円、投資有価証券が9億53百万円減少しております。

負債合計は、1,767億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億19百万円増加しました。主として、借入金が79億90百万円増加し、未払費用が29億10百万円、繰延税金負債が3億45百万円減少しております。

純資産合計は、1,201億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億17百万円減少しました。主として、利益剰余金が2億31百万円、その他有価証券評価差額金が6億86百万円減少しております。

(3) 今後の見通し

平成31年11月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想については、平成31年1月15日発表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,363	22,548
受取手形及び売掛金	58,378	57,590
商品及び製品	23,687	23,392
仕掛品	14,453	16,274
原材料及び貯蔵品	18,196	18,998
その他	5,205	5,103
貸倒引当金	△35	△35
流動資産合計	142,249	143,873
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,582	30,328
機械装置及び運搬具(純額)	66,239	66,560
その他(純額)	16,812	17,429
有形固定資産合計	113,634	114,318
無形固定資産	2,749	2,759
投資その他の資産		
投資有価証券	24,438	23,484
退職給付に係る資産	7,480	7,480
その他	5,005	5,042
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	36,916	36,000
固定資産合計	153,300	153,078
資産合計	295,550	296,952
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,923	49,289
短期借入金	10,961	24,939
1年内返済予定の長期借入金	23,442	23,294
未払法人税等	2,136	1,660
その他	17,730	14,014
流動負債合計	104,195	113,198
固定負債		
長期借入金	49,178	43,338
役員退職慰労引当金	18	19
退職給付に係る負債	10,543	10,499
その他	10,539	9,737
固定負債合計	70,278	63,595
負債合計	174,473	176,793

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,221	11,221
利益剰余金	82,537	82,305
自己株式	△262	△263
株主資本合計	109,571	109,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,329	9,642
為替換算調整勘定	△4,333	△4,345
退職給付に係る調整累計額	△1,027	△1,006
その他の包括利益累計額合計	4,968	4,289
非支配株主持分	6,536	6,530
純資産合計	121,076	120,158
負債純資産合計	295,550	296,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年12月1日 至平成31年2月28日)
売上高	60,367	61,046
売上原価	46,261	47,678
売上総利益	14,105	13,368
販売費及び一般管理費	10,216	9,941
営業利益	3,889	3,426
営業外収益		
受取利息	19	32
受取配当金	120	129
持分法による投資利益	5	16
その他	266	232
営業外収益合計	411	410
営業外費用		
支払利息	235	240
売上割引	134	149
為替差損	416	181
その他	226	198
営業外費用合計	1,013	770
経常利益	3,286	3,066
特別利益		
固定資産売却益	9	2
特別利益合計	9	2
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	3	44
独占禁止法等関連損失	558	—
特別損失合計	561	46
税金等調整前四半期純利益	2,734	3,023
法人税、住民税及び事業税	473	707
法人税等調整額	65	34
法人税等合計	538	741
四半期純利益	2,196	2,282
非支配株主に帰属する四半期純利益	129	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,067	2,253

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年12月1日 至平成31年2月28日)
四半期純利益	2,196	2,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	513	△684
為替換算調整勘定	△1,029	△16
退職給付に係る調整額	101	20
持分法適用会社に対する持分相当額	10	△24
その他の包括利益合計	△403	△704
四半期包括利益	1,792	1,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,655	1,574
非支配株主に係る四半期包括利益	137	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。この変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表の組替えを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年12月1日 至平成30年2月28日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,718	35,558	4,091	60,367	—	60,367
セグメント間の内部売上高 又は振替高	931	150	1,593	2,675	(2,675)	—
計	21,650	35,708	5,684	63,043	(2,675)	60,367
セグメント利益	1,344	2,090	436	3,871	17	3,889

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年12月1日 至平成31年2月28日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,775	35,620	4,650	61,046	—	61,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	314	273	1,841	2,429	(2,429)	—
計	21,089	35,894	6,492	63,476	(2,429)	61,046
セグメント利益	1,434	1,494	493	3,422	4	3,426

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。